

# あたらしくはいった本 (平成27年12月 貸出開始資料から)

- 小説 天平の女帝 孝謙称徳 (玉岡かおる/著) 戦国はるかなれど 上・下 (中村彰彦/著) 新カラマーゾフの兄弟 (亀山郁夫/著) 世にも奇妙な君物語 (朝井リョウ/著) ザ・ブラックカンパニー (江上剛/著) ユートピア (湊かなえ/著) ヒクイドリ (古野まほろ/著) 地に巣くう (あさのあつこ/著) 大川契り (西條奈加/著) 未成年 (イアン・マキューアン/著) 図書館大戦争 (ミハイル・エリザーロフ/著)
- 随筆・詩などの文学 ラオスにいったい何があるというんですか? (村上春樹/著) うちの子になりなよ (古泉智浩/著) おとなの始末 (落合恵子/著) 雨の匂いのする夜に (椎名誠/写真と文) 大人の流儀5 (伊集院静/著) ころころザワつく放哉 (尾崎放哉/著)
- その他の本 はなちゃん12歳の台所 (安武はな/著) 池上彰の世界の見方 (池上彰/著) その症状は天気の子のせいかもしれません (福永篤志/著) ひでこさんのたからもの。 (つばた英子、つばたしゅういち/著) JAPAN CLASS (ジャパンプラス編集部/編)



## みんなの としょかん



市民図書館

TEL (921) 4646

FAX (921) 4896

<http://www.library.dazaifu.fukuoka.jp/>

## としょかんカレンダー

平成28年	日	月	火	水	木	金	土
			①	2	3	4	5
2	7	⑧	9	10	11	12	13
	14	⑮	16	17	18	19	20
	21	⑳	23	㉒	25	26	27
	28	㉑					

○のついた日は休館日

金・土曜日(祝日を除く)は午後7時まで開館しています。

## 平成27年度 映画(レーザーディスク)をみようかい

場所: プラム・カルコア太宰府研修室

時間: 午後1時30分~ ※入場無料・申し込み不要

2月2日(火)「クール・ランニング」1993年 アメリカ 1時間38分

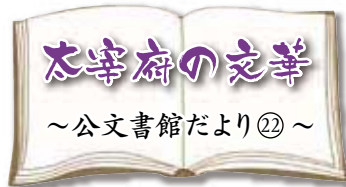
3月1日(火)「エデンの東」1954年 アメリカ 1時間55分

## 江戸時代の徒罪ずざい

徒罪とは、元は律令法の一つで、犯罪者を獄に拘禁して強制的に労役に服させる、今日の懲役刑と似た刑罰です。江戸時代の中心的な刑罰は追放刑(一定の場所に居住することを禁じる刑)でしたが、追放された犯罪者が無宿(浮浪人)となり、生活に困って再び罪を犯すという弊害がありました。この解決策として江戸中後期に成立したのが江戸時代の徒罪です。福岡藩では、天明期(1781~1788年)から採用が検討され始め、安政2(1855)年に徒罪方の仕法が定められました。犯罪の教化、改善を意図する徒罪が採用されたことは、江戸時代の刑罰制度における画期と評価されています。

では、この徒罪の一例を太宰府に残された史料から見てみましょう。安政5(1858)年9月に宰府村に住む清兵衛が以下のような願いを役所に申し出ました。

私の息子仁三郎は当年33歳になりますが、人品優れず、博奕と大酒を好み、時には酒乱になることもありまし。意見しましたが素行の悪さは直らず、蔵へ召籠(身柄を監禁すること)にしていたところ、夜逃げして行方知れずになつてしまいました。しかし、当



~公文書館だより②~

年2月の天満宮御祭礼の時に村へ帰ってきて、そこで人々と言ひ争ひになり相手を傷つけてしまいました。不法の行いをしたとはいへ、実の息子なので見放すことはできず、村の組合に頼んで解決してもらいましたが、仁三郎はまたすぐに姿を消してしまつたのです。致し方なくうち過ごしておりましたところ、8月の御祭礼の時に再び村へ帰つてきました。このままでは、また人様に迷惑をかけることになるので、恐れ多きことではありますが、息子を徒罪にしたいだけないでしょうか。そうすれば、人品も良くなり農業に励むようになるのではないかと考えております。この段、お聞き届け下されますよう、ひとえにお願い申し上げます。(「雑記」『太宰府市史近世資料編』)

放蕩息子を改善させるために父親みずから徒罪を申し出るという、興味深い内容です。この願いは聞き入れられ、仁三郎は一年間の徒罪となりましたが、その後の詳細は不明です。徒罪によつて本当に人心を改めることができたのでしょうか。罪を犯した人の更生を期待し再犯を防ごうとする考え方は、子を思う親心とも重なります。

太宰府市公文書館 太田黒 真美